

今回のテーマ:がんゲノム医療



手術・薬物・放射線治療
などを頑張ったのに、
まだ良くならないよ...

ならば、
がんゲノム医療を相談
してみてもいいかな？



がんゲノム医療とは...



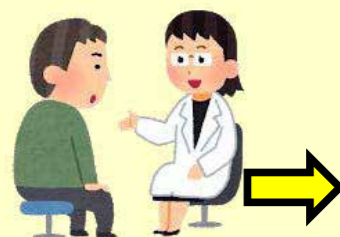
診療部長／遺伝子診療部主任部長
渡 正伸先生

がんになる原因の一つに“遺伝子”の関与が挙げられます。

近年、がん細胞の遺伝子解析が可能となり、がんの原因となるゲノムの研究が進み、種々のがんについていくつもの遺伝子変異が報告されるようになってきました。がんの遺伝情報を解析することで、がん化のメカニズムが分かり、それをターゲットとする治療薬の開発(創薬)が可能となり、近年多くのがん治療薬が開発され、臨床に使用されています。

今後も未知のゲノム情報が発見され、新たな創薬につながる可能性が十分あります。がんゲノム医療では、患者さんそれぞれのがん組織から遺伝子変異の有無を検査し、有った場合それに対する治療薬を選択して投与します。また遺伝子変異の有無にかかわらず、多くのがん組織検体から遺伝子データを蓄積することは、新たながんにおける遺伝情報の発見や創薬を目指す上で極めて重要なビッグデータとなり得ます。

治療の流れ



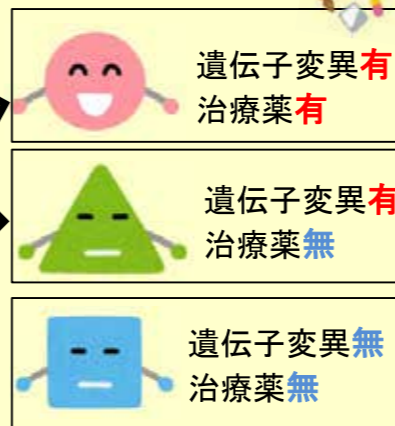
主治医を通して、
専門外来を受診



組織検体から
DNAを抽出



次世代シーケ
ンサーで解析

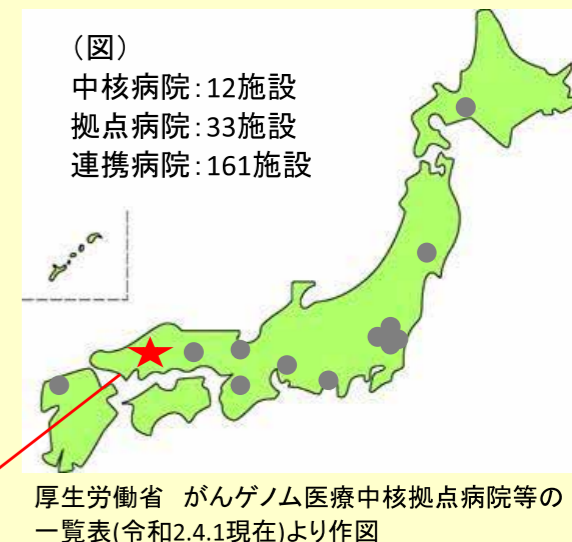


治療薬の有無を判定

しかしながら、がん組織から数百にも及ぶ多くの遺伝子を解析することは、どこの病院でもできる検査ではありません。国内でがんゲノム医療を実施している施設は(図)のとおりです。

がんの薬物治療を受けてきたが、もう次に使える薬物が見当たらない場合で、がん組織の遺伝子を解析し未知の治療につながる情報が有るか、使える治験薬などが有るかを探求し、有れば治療を実施していきます。

広島県には中核病院1施設、拠点病院が5施設あり、今後増えていくと思われます。



対象となる患者さんは、

- ・標準治療がない、或いは終了した固形がん
- ・原発不明がん
- ・治療法が確立していない希少がん等

留意点

- ・検査結果が分かるまでに時間がかかります
- ・費用が高額(保険対象外の検査もあります)
(保険の場合、高額療養制度の対象になります)
- ・最終的に治療まで結びつくのは約10%程度です

当院の遺伝子診療部のご案内

- ・診療開始日:2020年1月10日(金)
- ・診療日:毎月第2金曜日、午後、完全予約制
- ・担当医師:
四国がんセンター 山本 弥寿子先生(臨床遺伝専門医)
当院 乳腺外科 梶谷 桂子先生(臨床遺伝専門医)
- ・カウンセリング料 <自費診療>
初診 11,000円(税込 1時間)
再診 5,500円(税込)
※遺伝学的検査は別途実費負担
- ・ご希望の際には、かかりつけの先生にご相談ください。

がんゲノム医療のための「がん遺伝子パネル検査」を行うと、遺伝する疾患(遺伝性腫瘍)の可能性が判明することがあります。当院では、遺伝子診療部を開設し、遺伝性疾患の患者および血縁者の方の対応を行っています。

